

# 中小企業景況調査報告書

平成20年10月～12月実績

平成21年1月～3月予測

京都府商工会連合会

# 目 次

1. 中小企業景況調査の概要(京都府).....	2 ~ 3
2. 京都府内産業全体の景況.....	4 ~ 5
3. 製造業の景況.....	6 ~ 8
4. 建設業の景況.....	9 ~ 11
5. 小売業の景況.....	12 ~ 14
6. サービス業の景況.....	15 ~ 17

## D・Iとは

この報告書の中で用いているD・I指数とは、デیفュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向の度合いを表す指標として利用されています。

### 算出方法

増加（上昇・好転・長期化等）企業割合 － 減少（低下・悪化・短期化等）企業割合

D・Iが、プラス（+）値..... 強気（楽観）を表す。

D・Iが、マイナス（-）値..... 弱気（悲観）を表す。

例えば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減小企業20%の場合、

D・I指数は  $50\% - 20\% = 30\%$

となり、経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

# I. 中小企業景況調査の概要（京都府）

この調査は、商工会地域の産業の状況等地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするため、昭和54年度から全国商工会連合会と提携し、全国一斉に実施しているものです。

調査要領と、本年度の調査対象商工会及び調査回答企業数の内訳は次のとおりです。

## 1. 調査対象期間

平成20年10月～12月期を対象とし、調査実施時点は11月15日（土）、実施期間は11月11日（火）～11月17日（月）とした。

## 2. 調査の方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査とする。
- (2) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法による。

## 3. 調査対象商工会及び回答企業数（調査対象企業数 150企業）

商工会名	製造業	回答数	建設業	回答数	小売業	回答数	サービス業	回答数	構成比
精華町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
京丹後市	6	6	6	6	9	9	9	9	100.0%
南丹市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
福知山市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
与謝野町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
大山崎町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
井手町	4	4	3	3	5	5	3	3	100.0%
木津川市木津町	3	3	3	3	5	5	4	4	100.0%
京丹波町	3	2	3	3	4	4	5	5	93.3%
合計	31	30	30	30	43	43	46	46	99.3%

対象業種別構成等

	業 種 別	対象企業数	構 成 比	回答企業数	回 答 率
製造業	09 食 料 品 製 造 業	2	6.5%	2	100.0%
	11 織 維 工 業	8	25.8%	8	100.0%
	13 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	15 印 刷 ・ 同 関 連 業	2	6.5%	2	100.0%
	18 プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	21 窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	2	6.5%	2	100.0%
	23 非 鉄 金 属 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	24 金 属 製 品 製 造 業	5	16.1%	5	100.0%
	26 生 産 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	27 業 務 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 製 造 業	3	9.7%	3	100.0%
	31 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	3	9.7%	2	66.7%
	32 そ の 他 の 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
		小 計	31	20.7%	30
建設業	06 総 合 工 事 業	22	73.3%	22	100.0%
	07 職 別 工 事 業	2	6.7%	2	100.0%
	08 設 備 工 事 業	6	20.0%	6	100.0%
		小 計	30	20.0%	30
小売業	56 各 種 商 品 小 売 業	1	2.3%	1	100.0%
	57 織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	7	11.8%	7	100.0%
	58 飲 食 料 品 小 売 業	20	46.5%	20	100.0%
	59 機 械 器 具 小 売 業	7	16.3%	7	100.0%
	60 そ の 他 の 小 売 業	8	18.6%	8	100.0%
		小 計	43	28.7%	43
サービス業	68 不 動 産 取 引 業	1	2.2%	1	100.0%
	70 物 品 賃 貸 業	1	2.2%	1	100.0%
	72 専 門 サ ー ビ ス 業	3	6.5%	3	100.0%
	74 技 術 サ ー ビ ス 業	3	6.5%	3	100.0%
	76 飲 食 店	15	32.6%	15	100.0%
	78 洗 濯 ・ 理 容 ・ 美 容 ・ 浴 場 業	13	28.3%	13	100.0%
	88 廃 棄 物 処 理 業	2	4.3%	2	100.0%
	89 自 動 車 整 備 業	7	15.2%	7	100.0%
	92 そ の 他 の 事 業 の サ ー ビ ス 業	1	2.2%	1	100.0%
		小 計	46	30.7%	46
合 計		150	100.0%	149	99.3%

\*対象業種区分は「平成20年度中小企業景況調査実施要領」による。

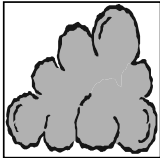
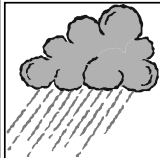
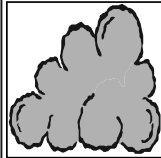
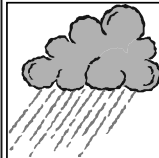
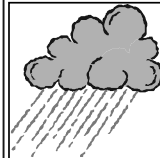
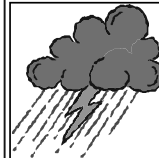
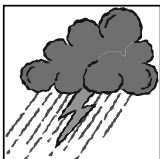
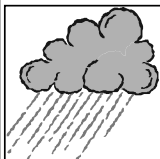
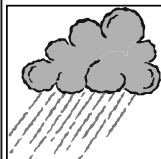
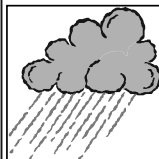
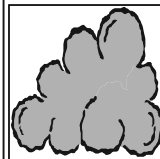
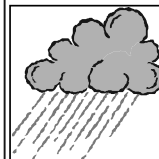

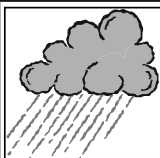
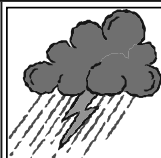
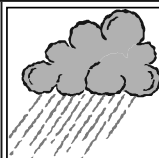
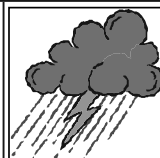
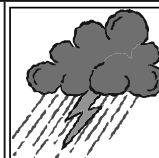
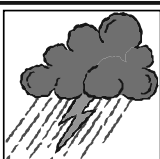
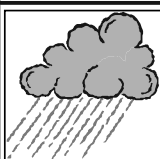
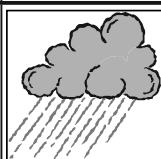
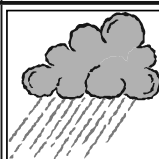
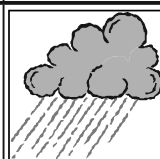
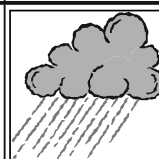
## Ⅱ. 京都府内産業全体の景況

全体的に前期に引続き厳しい状況が続いており、今後更に悪化が懸念される。

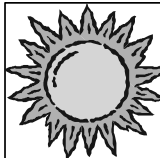
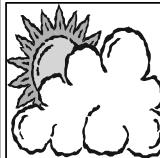
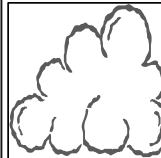
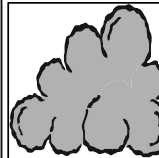
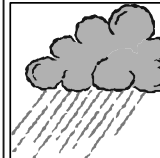
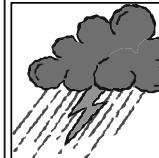
### 1. 業況の推移

- ① 売上高  
前期と比べ、建設業とサービス業は数字的に若干改善がみられるが、非常に厳しい中での動きである。
- ② 採算  
前期と同じく、厳しい状況での横ばいとなった。
- ③ 設備投資  
低調な中での多少の動きはあるが、実施状況は更に低下している。

業種別景況指標（景気の天気図）

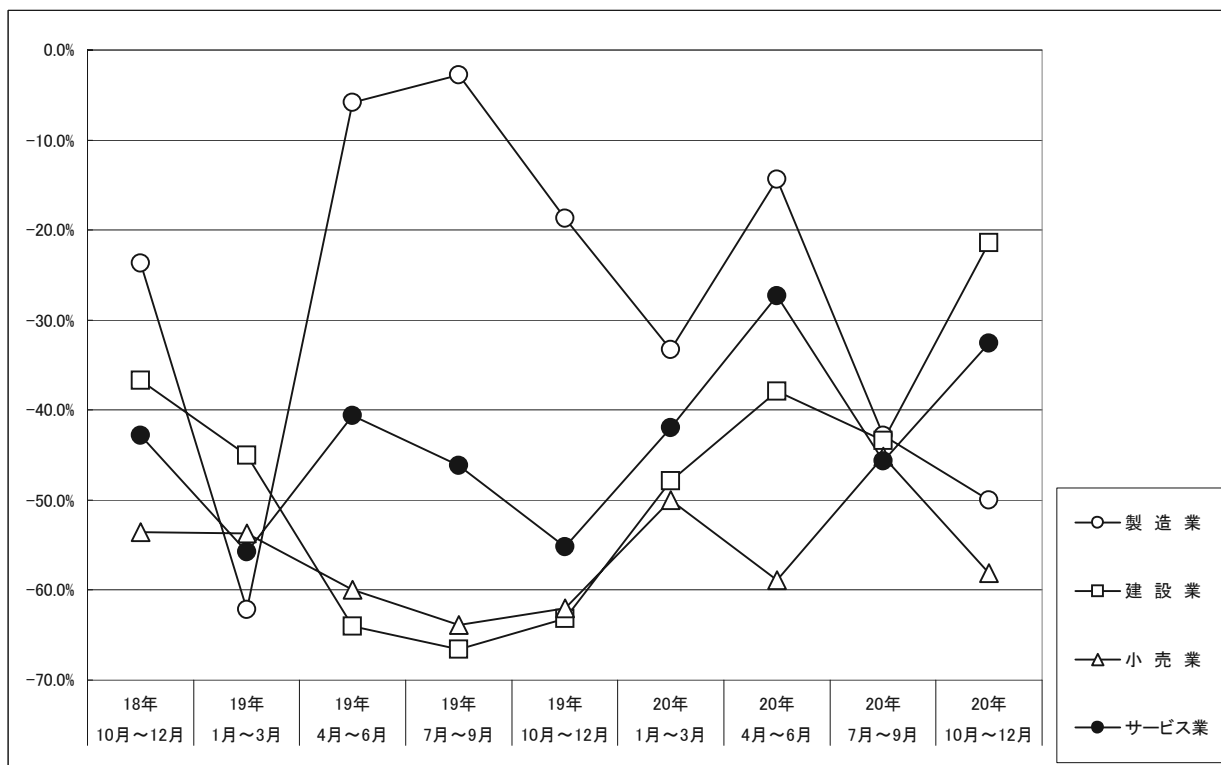
	19年 10月～12月	20年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	(見通し) 1月～3月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

天気図のよみ方

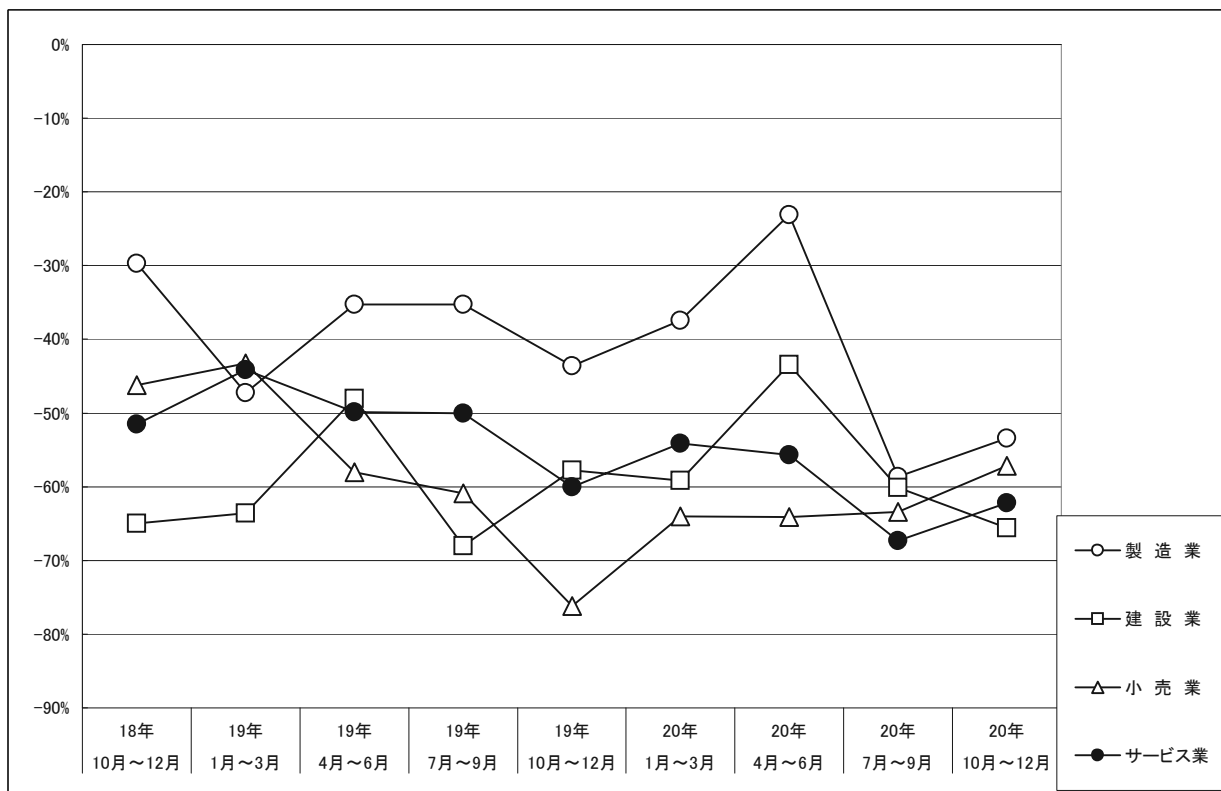
D・I値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0	0.0～△25.0	△25.1～△50.0	△50.1～△100
指標						
内容	特に好転	好転	やや好転	やや悪化	悪化	特に悪化

## 2. 売上高と採算の推移

① 売上高D・I（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー



② 採算D・I（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー



### 3. 製造業の景況

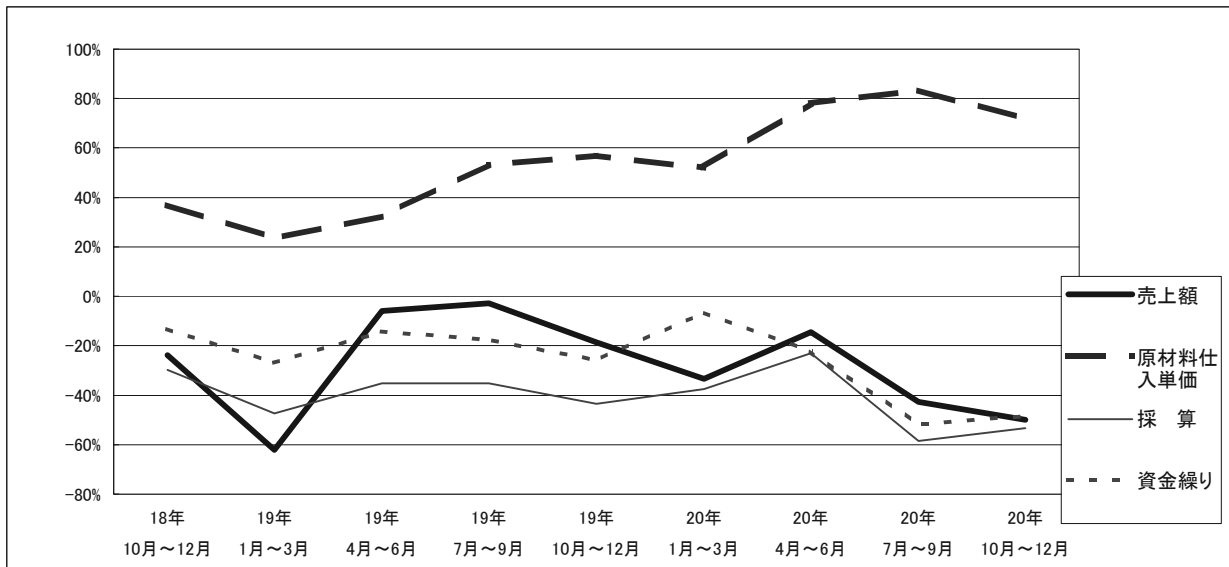
#### ① 製造業の推移

◆今期の製造業については、売上高はわずかながら好転しているところがあるが、悪化した企業が大きく増加している。なお、採算、資金繰りは前期同様に厳しい状況がつづいている。

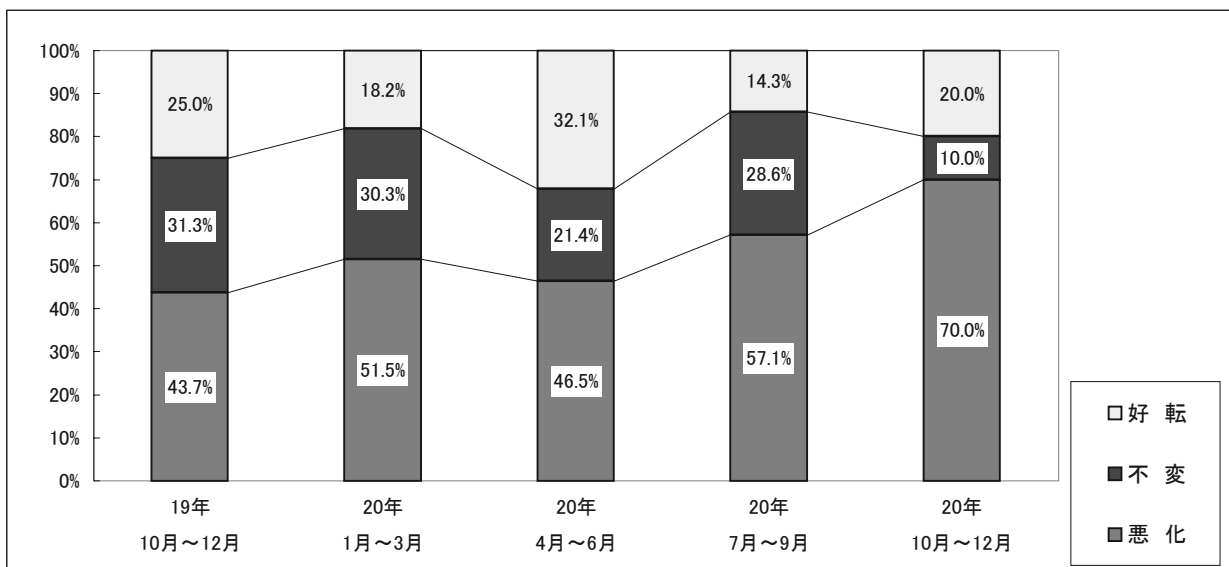
◆製造業の経営上の問題点は、「需要の停滞」と「製品単価の低下、上昇難」によるものが圧倒的に上位を占めた。

製造業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
売上額	-18.7%	-33.3%	-14.4%	-42.8%	-50.0%	-51.7%
原材料仕入単価	57.1%	52.0%	78.3%	83.3%	72.0%	25.0%
採算	-43.6%	-37.4%	-23.1%	-58.6%	-53.4%	-58.6%
資金繰り	-25.8%	-6.4%	-22.2%	-51.7%	-48.3%	-48.1%

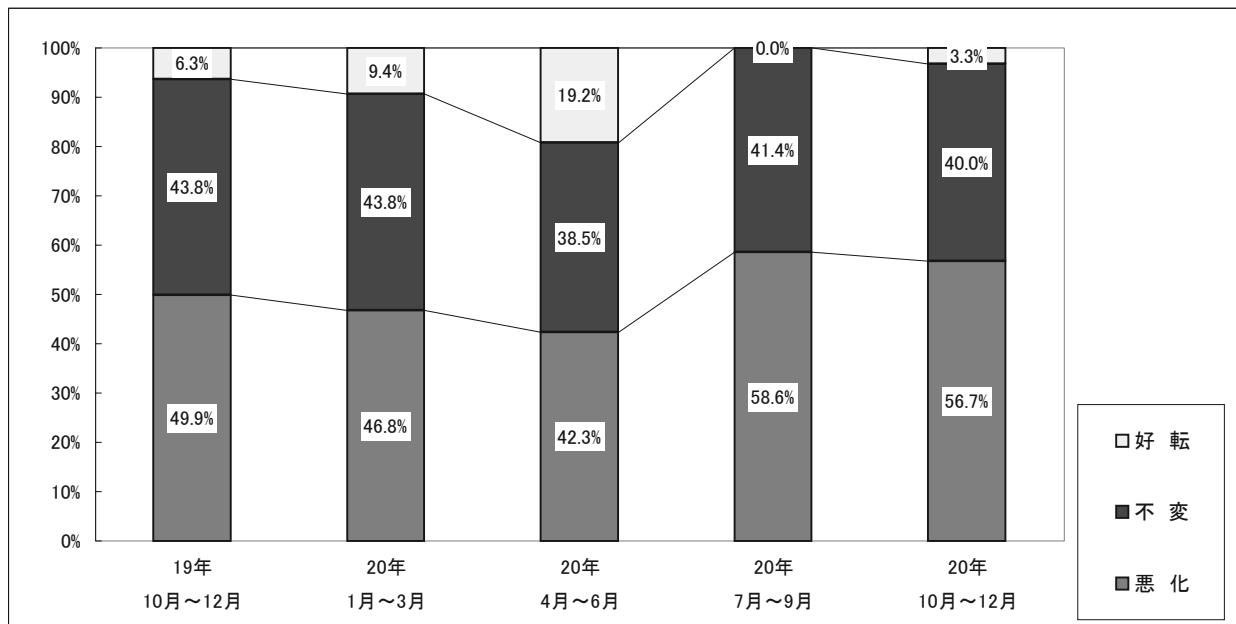
製造業 D・I（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー



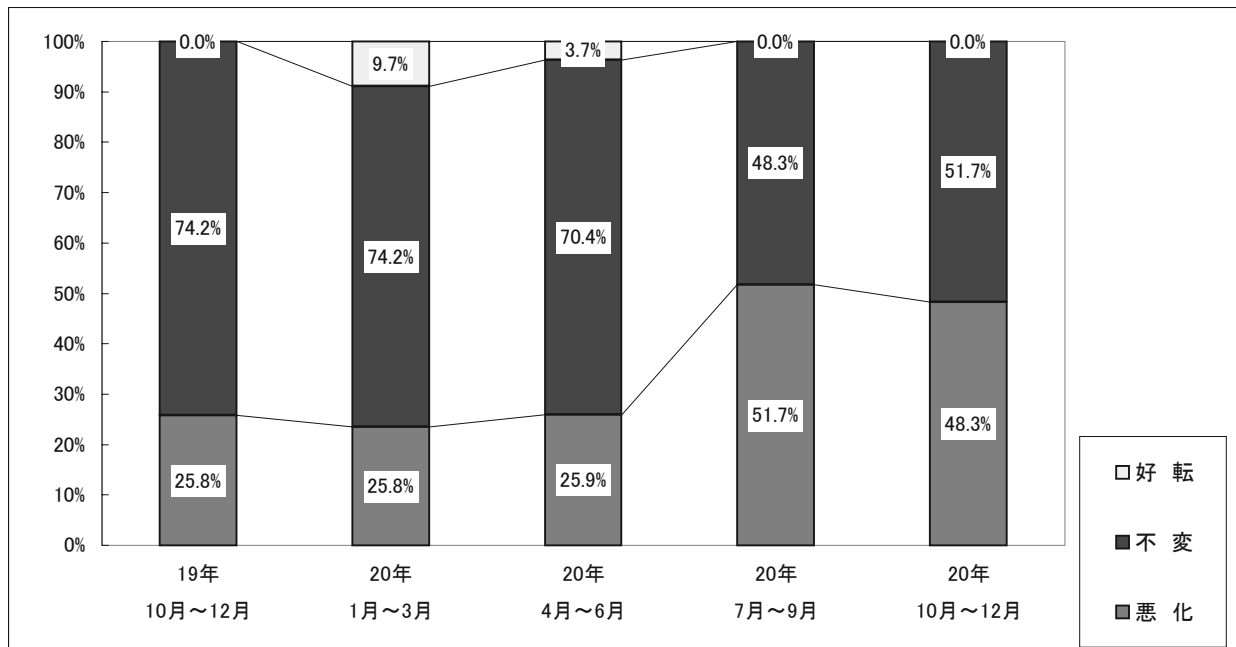
#### ② 売上（加工）額の状況 前年同期比（D・I値）



③ 採算の状況 前年同期比 (D・I 値)



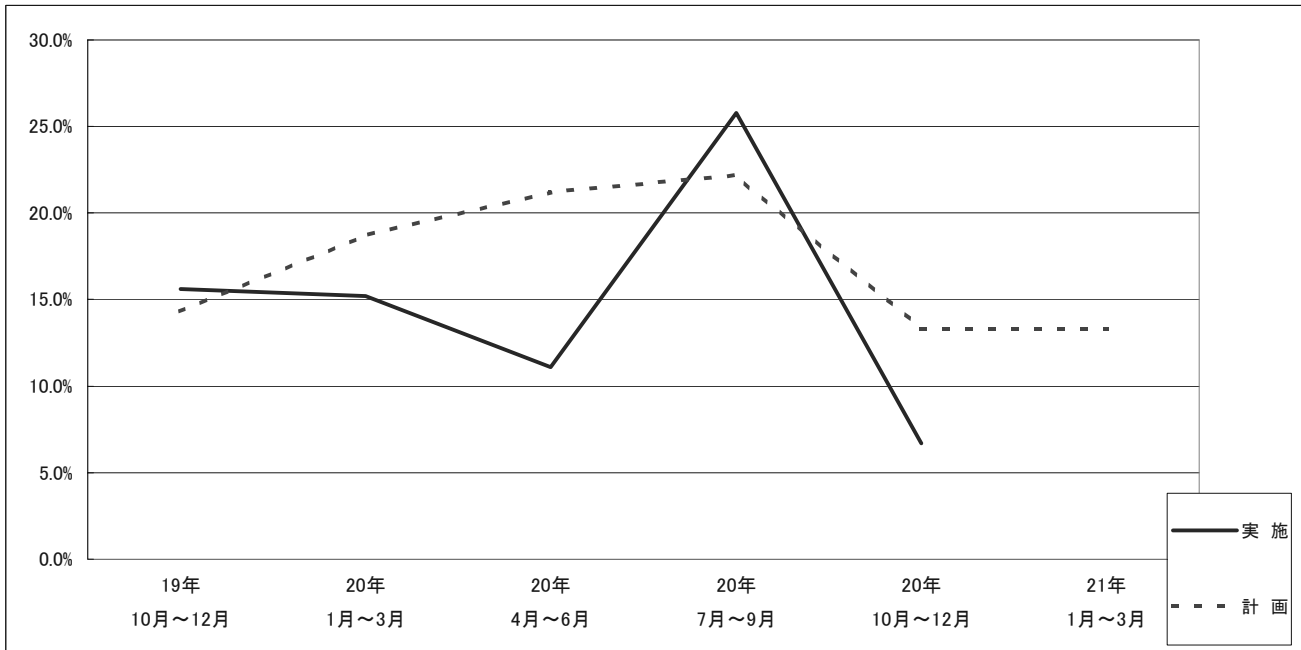
④ 資金繰りの状況 前年同期比 (D・I 値)



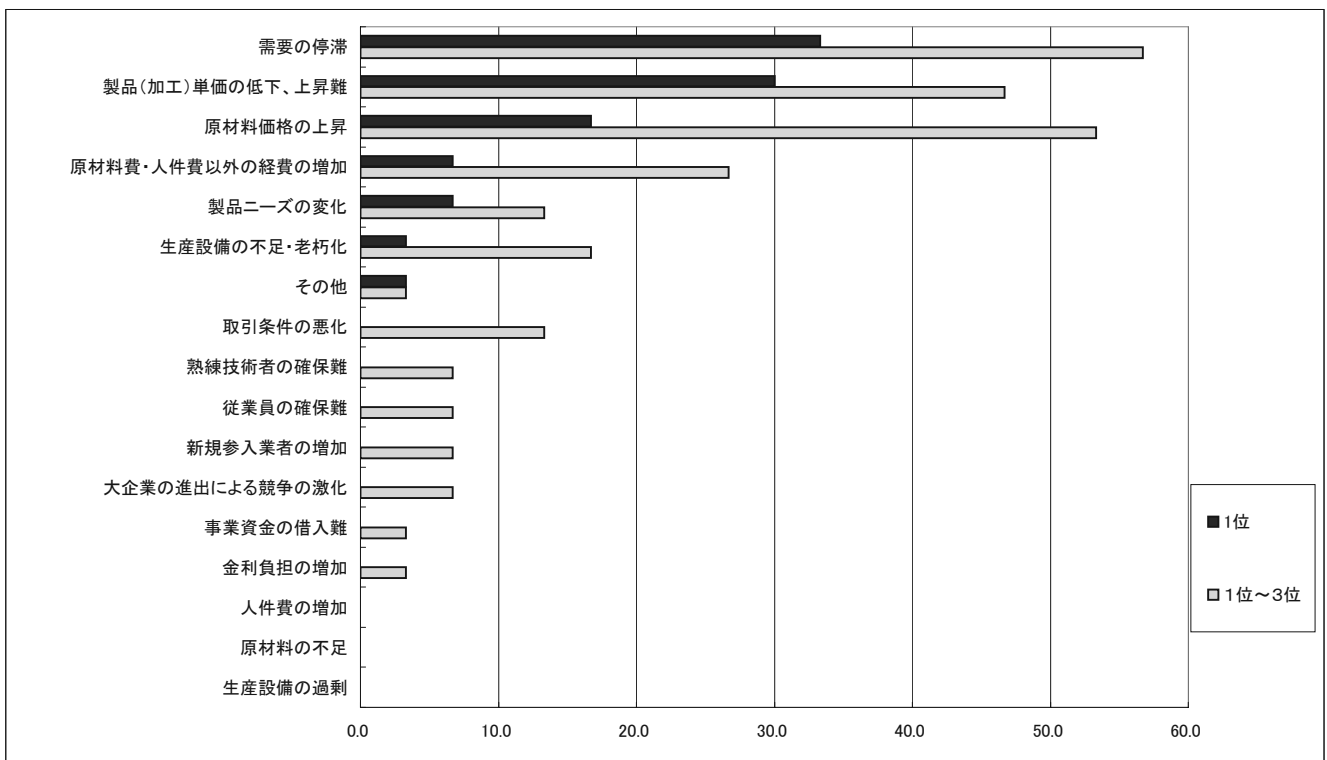


⑤ 設備投資の状況

製造業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
車両・運搬具	40.0%	20.0%	66.7%	75.0%	0.0%	25.0%
生産設備	40.0%	20.0%	0.0%	25.0%	50.0%	75.0%



⑥ 経営上の問題点



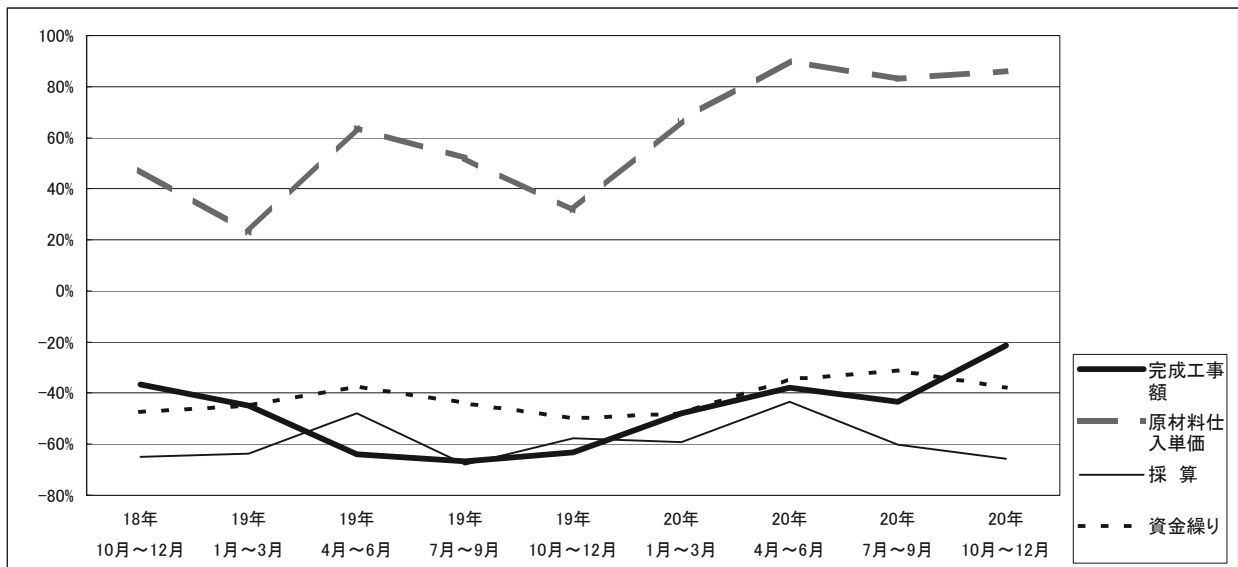
## 4. 建設業の景況

### ① 建設業の推移

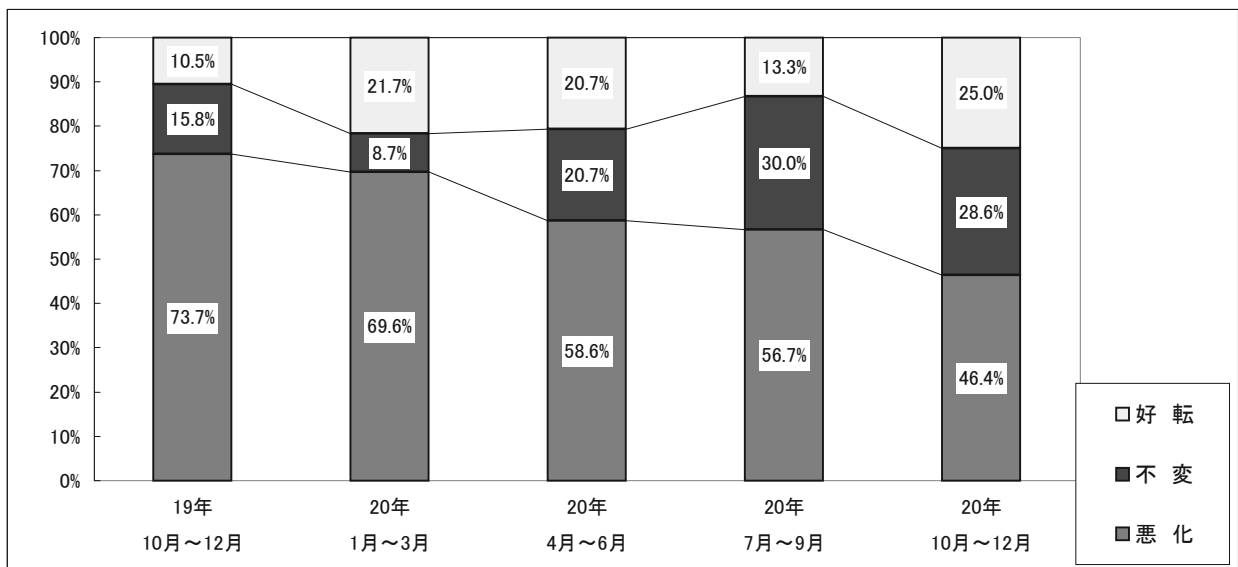
- ◆ 今期の建設業についての完成工事額はやや好転しているが、採算・資金繰りについては、前期に引続き厳しい状況が続いている。
- ◆ 経営上の問題点については、「官公需要の停滞」と「民間需要の停滞」が大きな点である。

建設業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
完成工事額	-63.2%	-47.9%	-37.9%	-43.4%	-21.4%	-48.4%
原材料仕入単価	31.5%	66.7%	90.0%	83.3%	86.2%	69.1%
採算	-57.8%	-59.2%	-43.4%	-60.1%	-65.6%	-72.4%
資金繰り	-50.0%	-47.8%	-34.5%	-31.0%	-37.9%	-53.6%

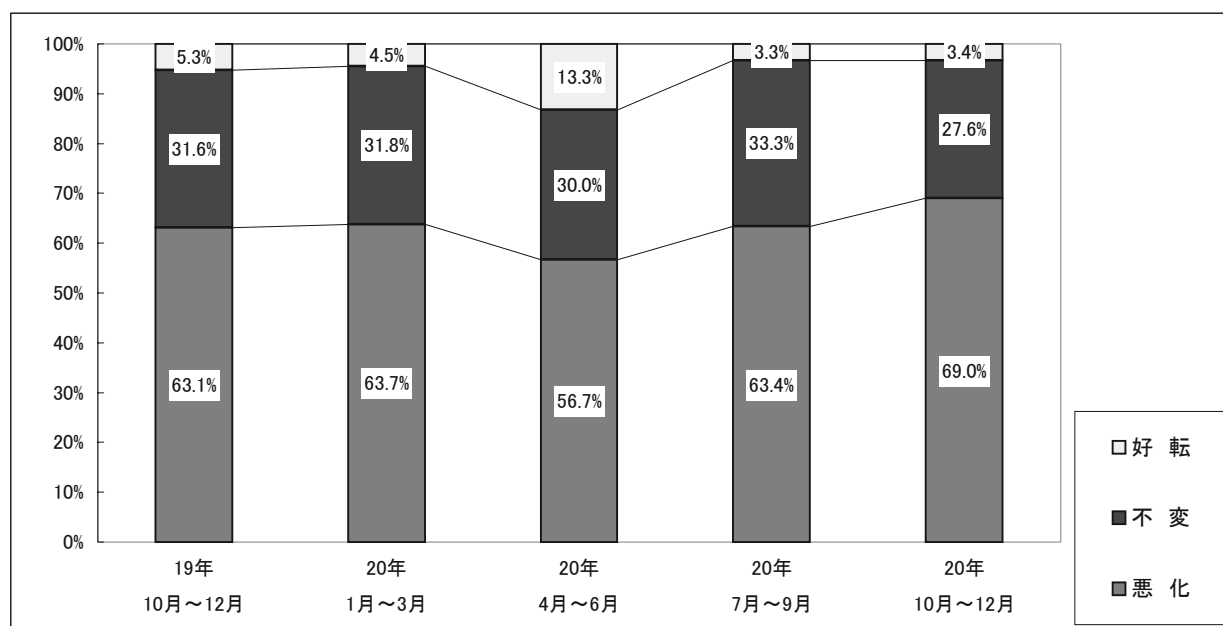
建設業 D・I（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー



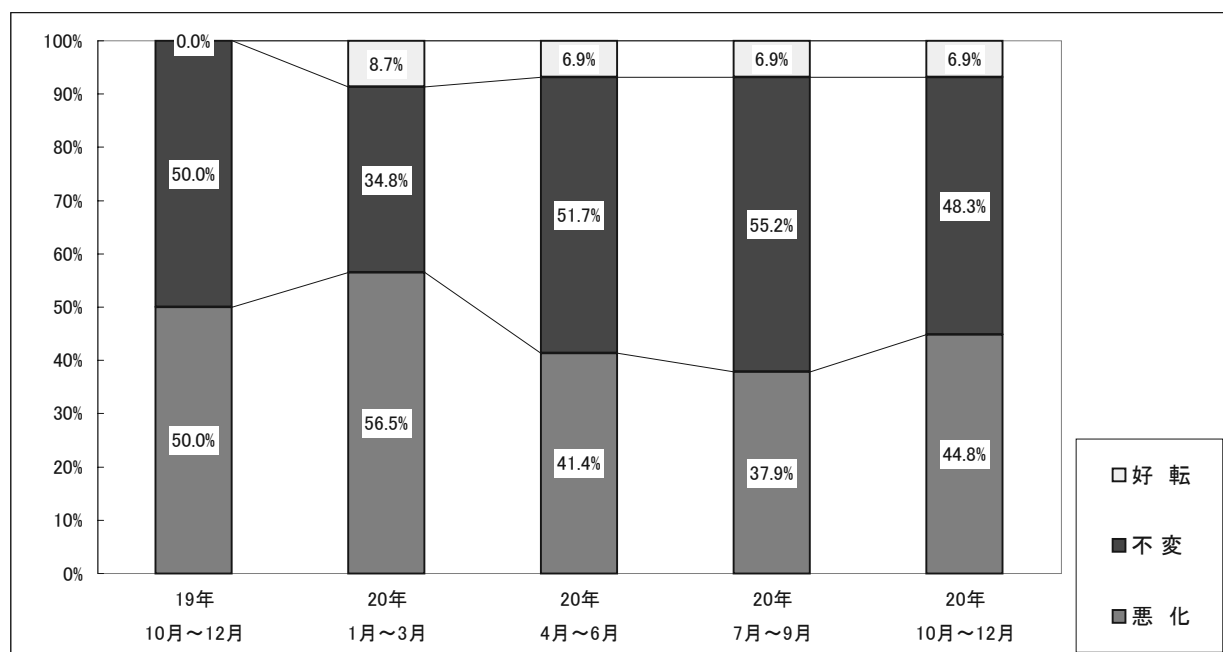
### ② 完成工事額の状況 前年同期比（D・I値）



③ 採算の状況 前年同期比 (D・I 値)

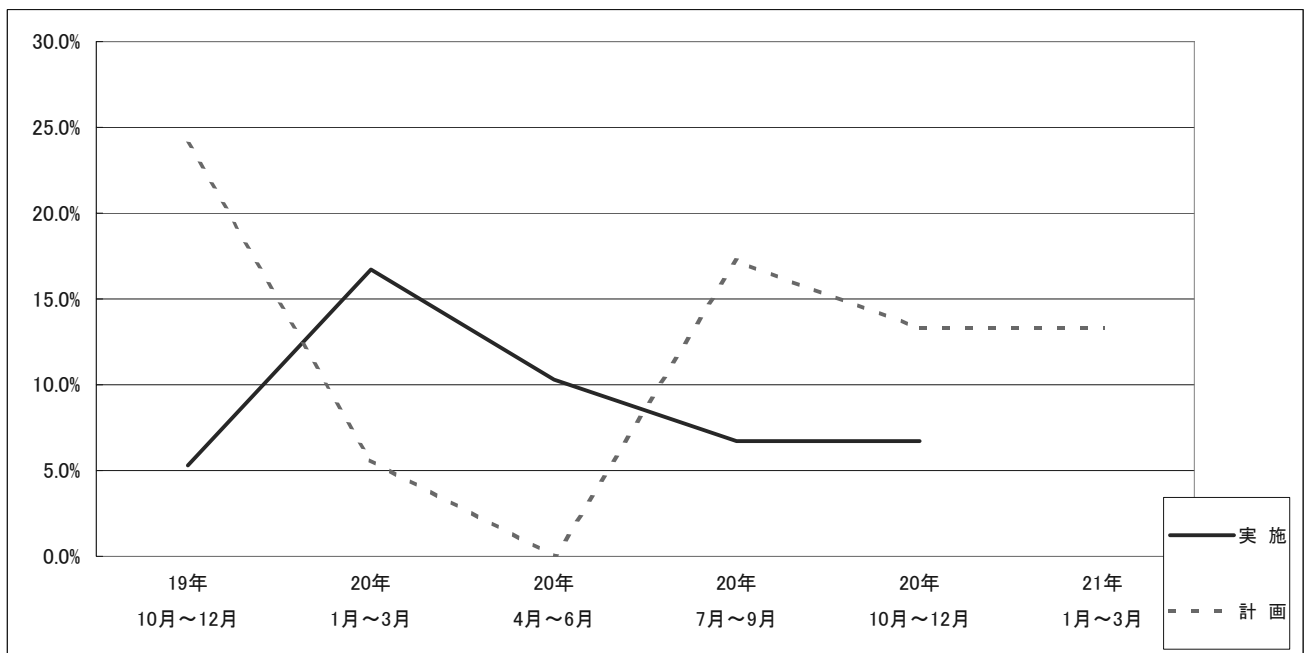


④ 資金繰りの状況 前年同期比 (D・I 値)

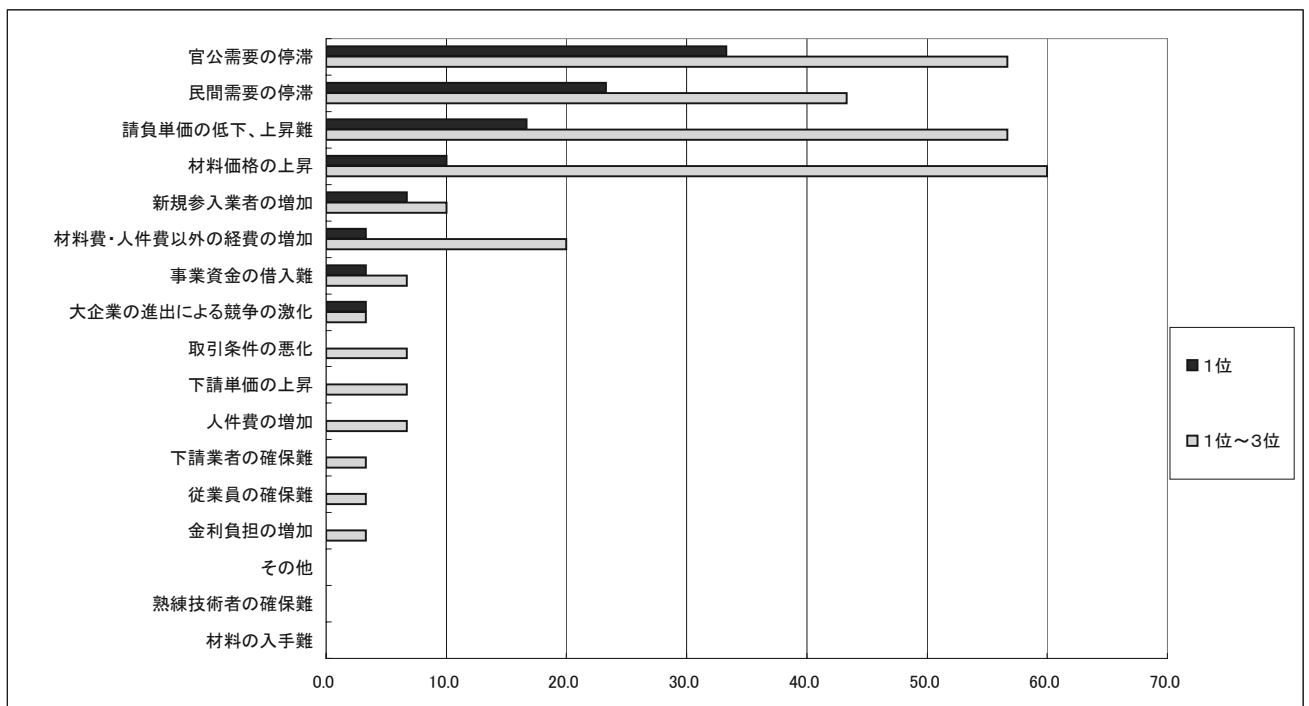


⑤ 設備投資の状況

建設業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	100.0%	25.0%
建設機械	0.0%	0.0%	66.7%	50.0%	0.0%	0.0%



⑥ 経営上の問題点



## 5. 小売業の景況

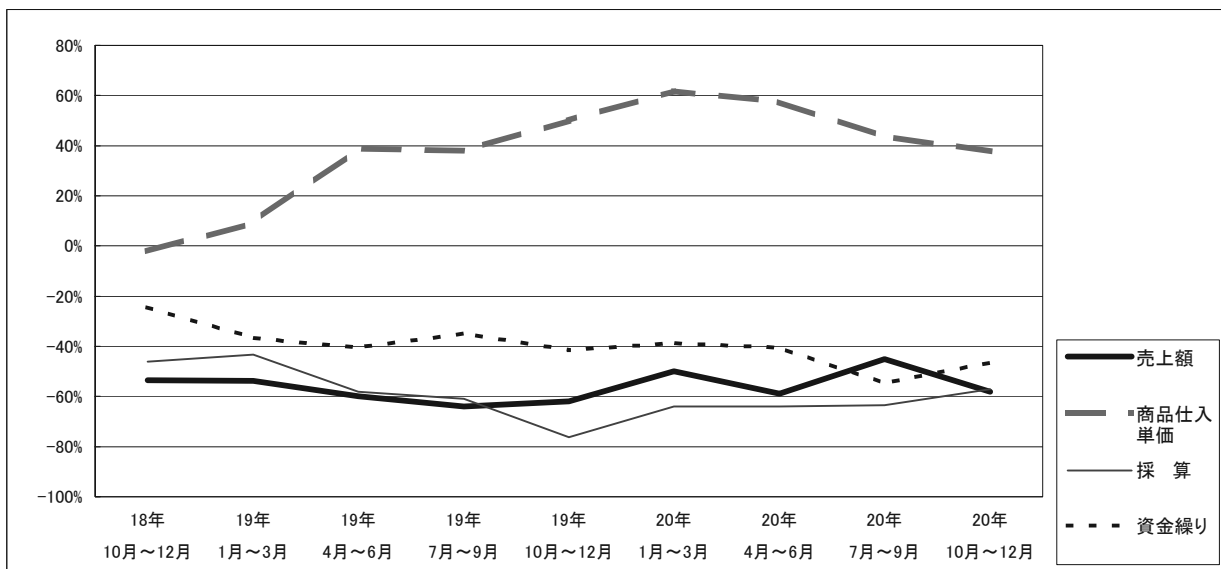
### ① 小売業の推移

◆ 今期の小売業について、前期は「売上額」がほんの少し改善の兆しが見られたが、今期は相当悪化している。

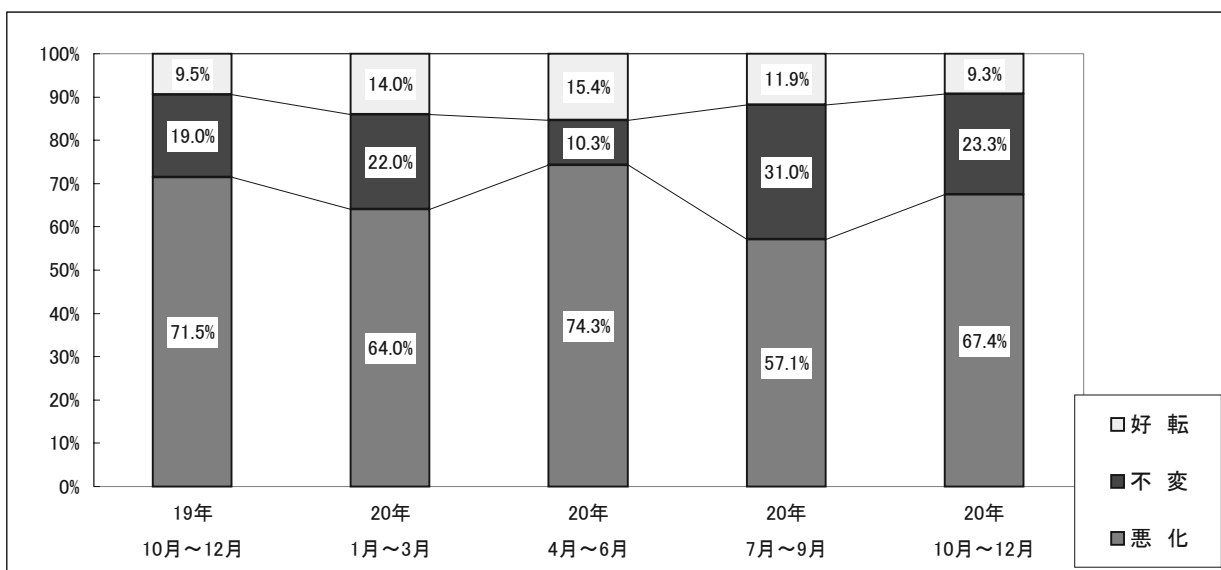
◆ 経営上の問題点については、今期も「大型店・中型店の進出による競争の激化」、「需要の停滞」が上位を占めている。

小売業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
売上額	-62.0%	-50.0%	-58.9%	-45.2%	-58.1%	-65.0%
商品仕入単価	50.1%	62.0%	57.5%	43.8%	38.0%	26.3%
採算	-76.2%	-64.0%	-64.1%	-63.4%	-57.2%	-63.4%
資金繰り	-41.5%	-38.8%	-40.5%	-54.8%	-46.4%	-59.5%

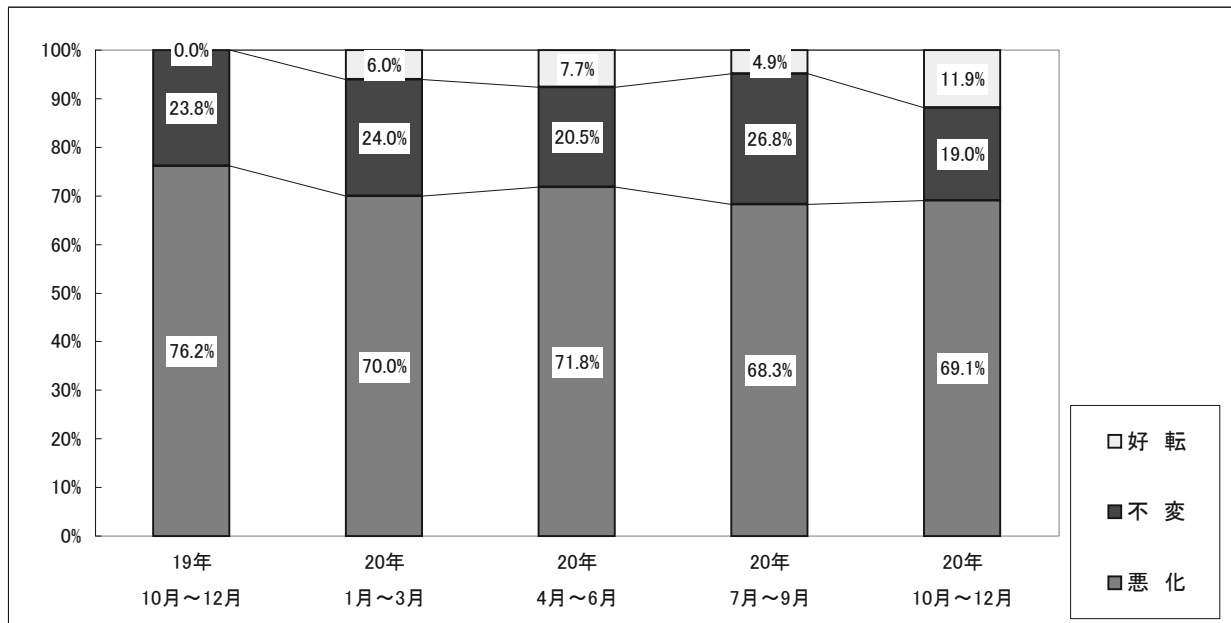
小売業 D・I（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー



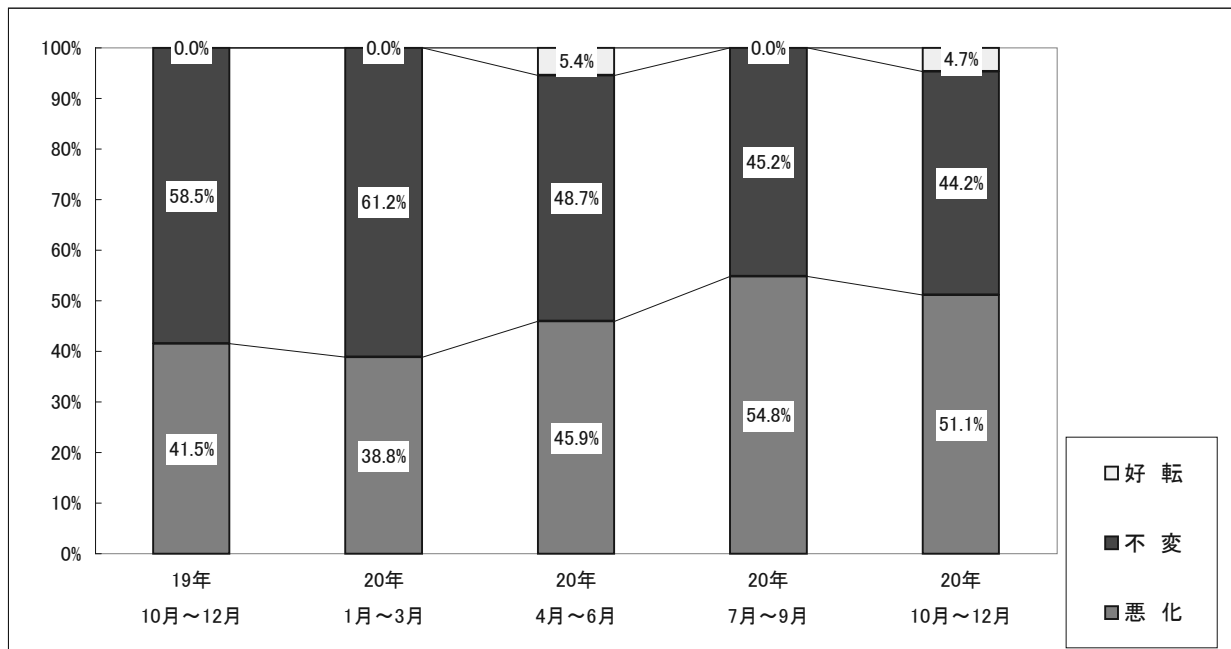
### ② 売上額の状況 前年同期比（D・I値）



③ 採算の状況 前年同期比 (D・I 値)

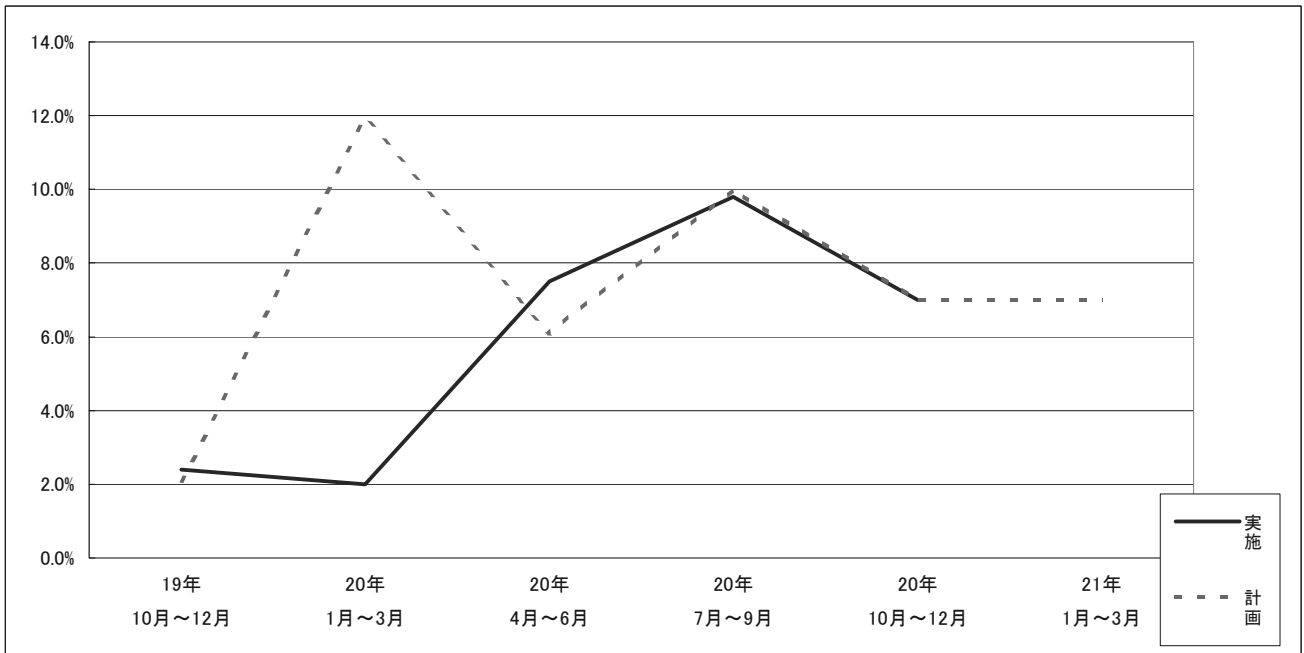


④ 資金繰りの状況 前年同期比 (D・I 値)

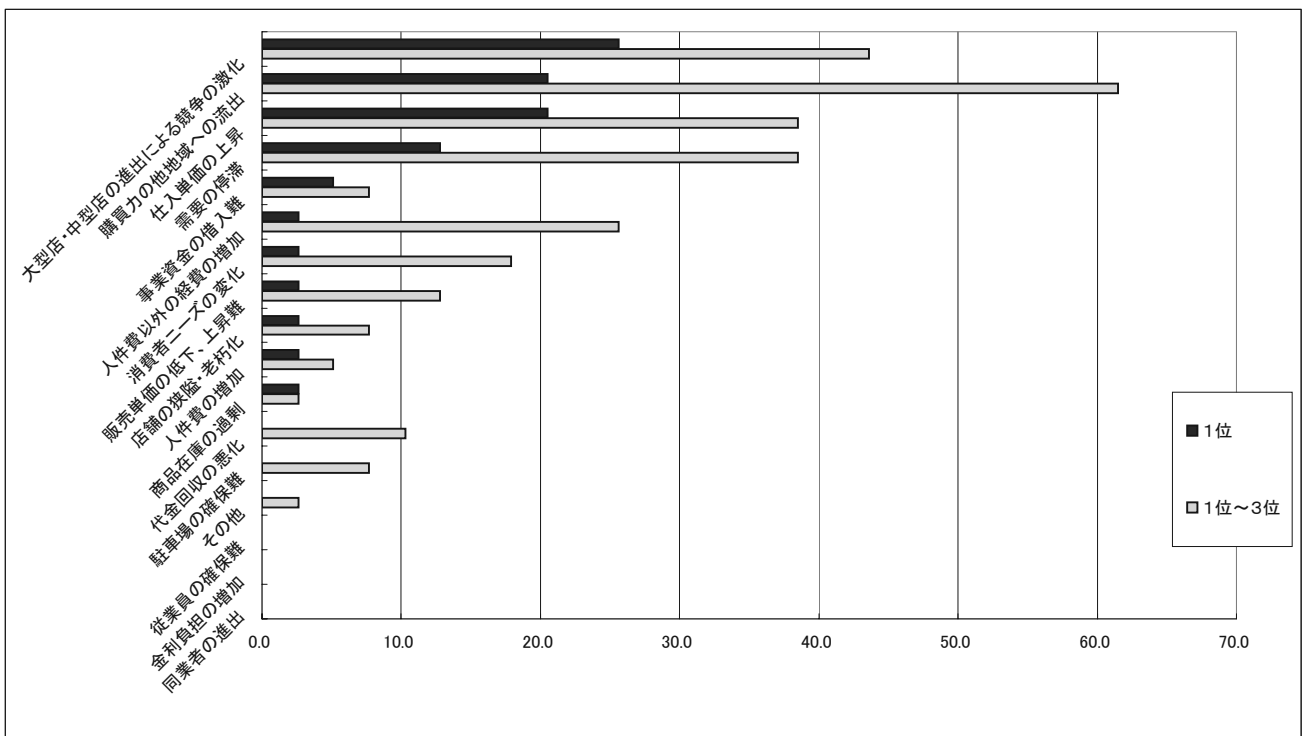


⑤ 設備投資の状況

小 売 業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
土 地	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	33.3%	0.0%
車両・運搬具	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	66.7%	33.3%
販売設備	0.0%	0.0%	66.7%	25.0%	33.3%	66.7%



⑥ 経営上の問題点



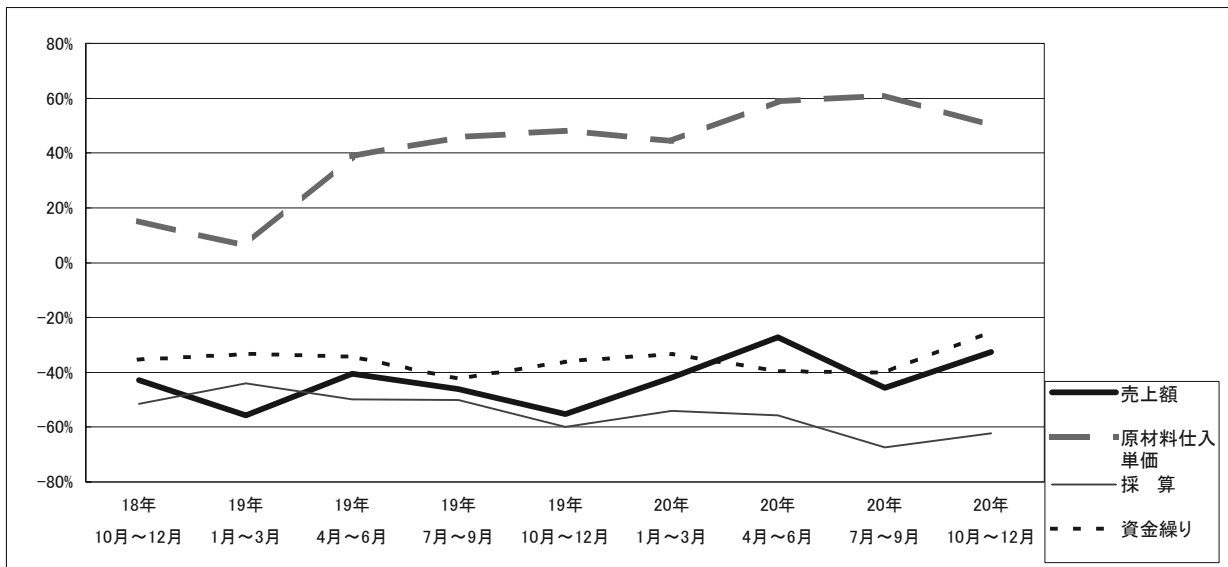
## 6. サービス業の景況

### ① サービス業の推移

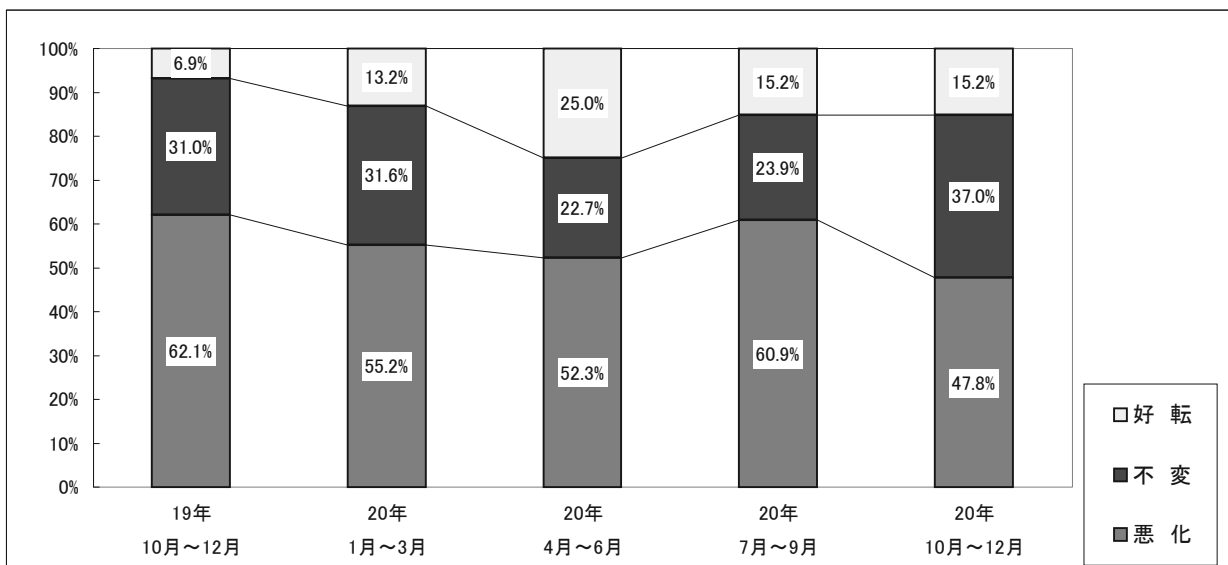
- ◆ 今期のサービス業の売上については、やや改善しており、その影響か資金繰りも少し良くなっている。
- ◆ 経営上の問題点としては、今期も「需要の停滞」と「仕入単価の上昇」が上位を占めている。

サービス業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
売上額	-55.2%	-42.0%	-27.3%	-45.7%	-32.6%	-43.4%
原材料仕入単価	48.3%	44.5%	58.9%	61.0%	50.0%	36.6%
採算	-60.0%	-54.1%	-55.7%	-67.3%	-62.2%	-53.4%
資金繰り	-36.0%	-33.3%	-39.6%	-40.0%	-25.0%	-40.0%

サービス業 D・I（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー

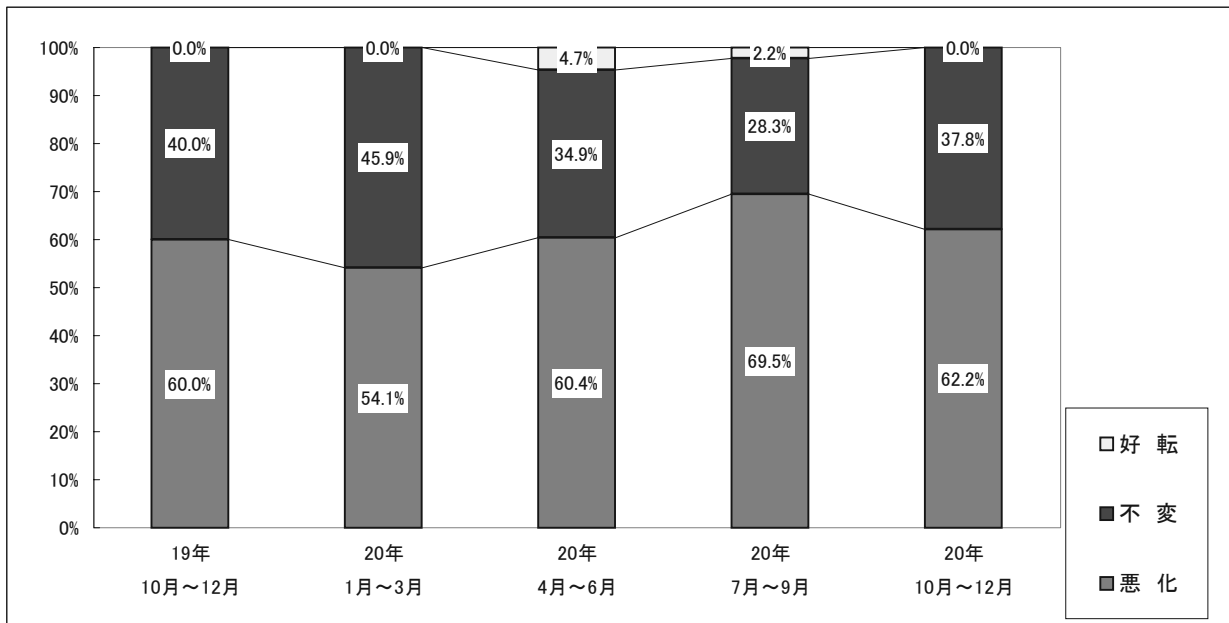


### ② 売上（収入）額の状況 前年同期比（D・I値）

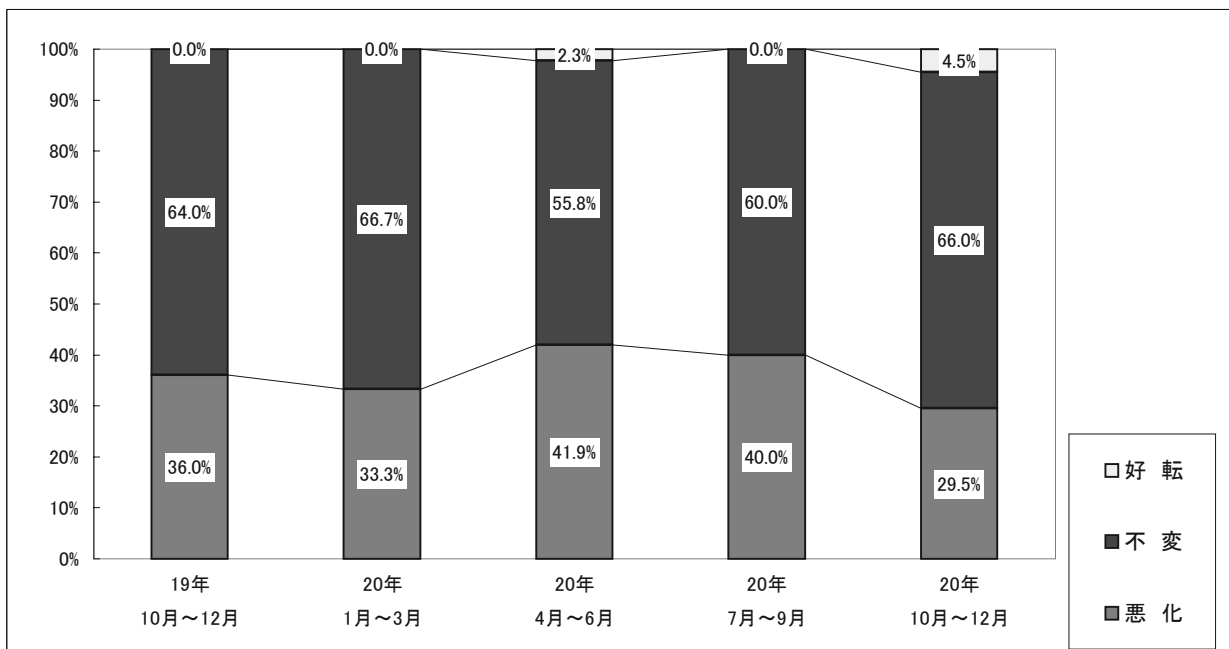




③ 採算の状況 前年同期比 (D・I 値)

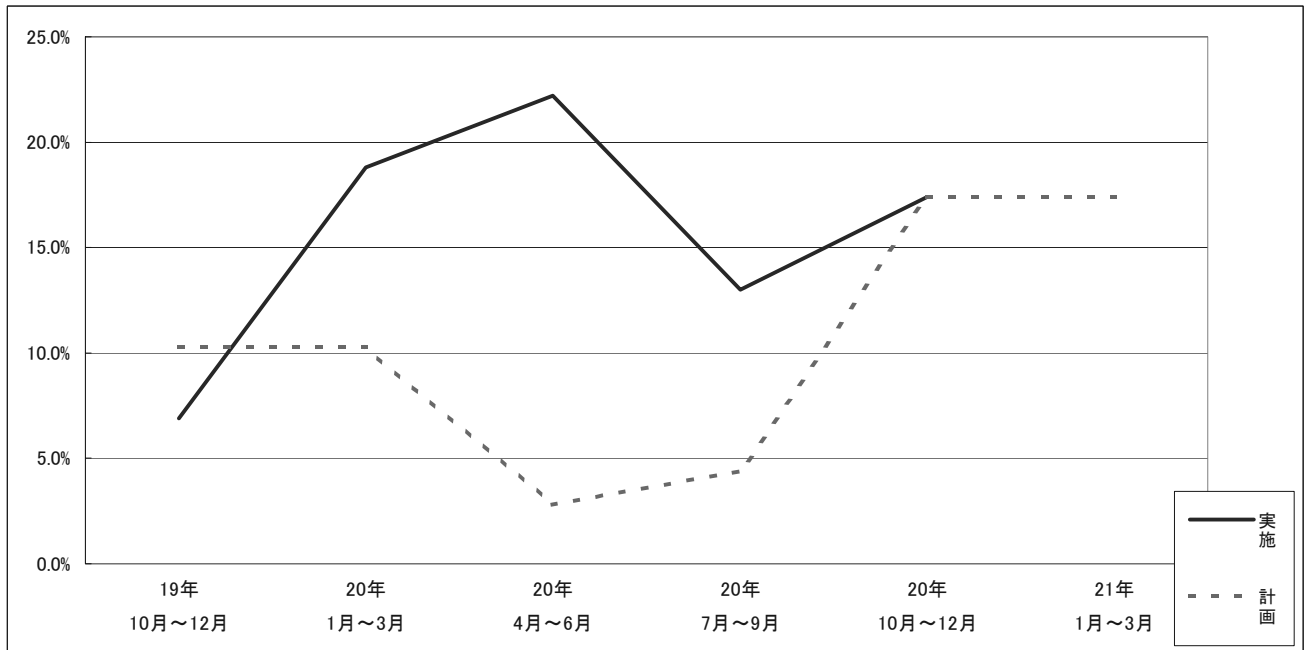


④ 資金繰りの状況 前年同期比 (D・I 値)

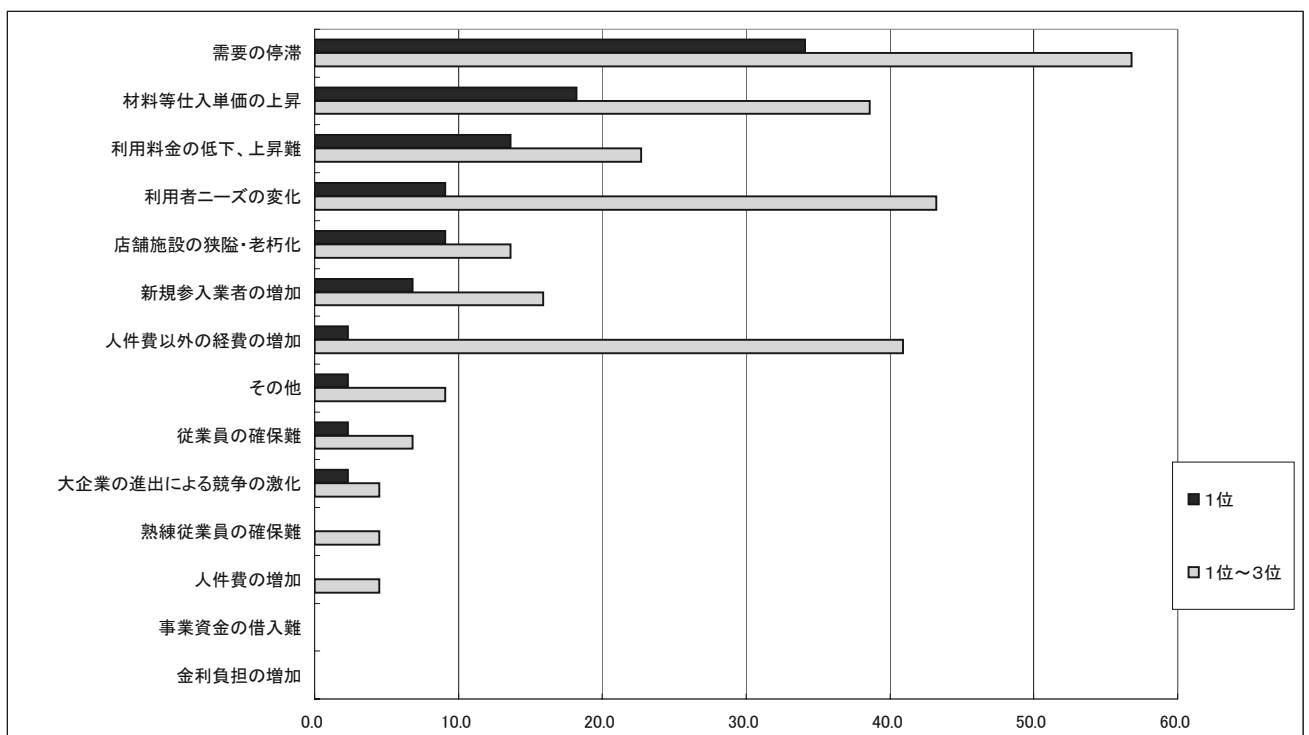


⑤ 設備投資の状況

サービス業	19年 10月～12月	20年 1月～3月	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
車両・運搬具	50.0%	0.0%	10.0%	33.3%	25.0%	0.0%
サービス設備	0.0%	25.0%	20.0%	16.7%	25.0%	12.5%



⑥ 経営上の問題点



## 京都府商工会連合会

京都市右京区西院東中水町17番地  
(西大路通り五条下ル東側)

京都府中小企業会館四階

郵便番号 615-0042

T E L (075) 314 - 7151

F A X (075) 315 - 1037

e-mail : [office@kyoto-fsci.or.jp](mailto:office@kyoto-fsci.or.jp)